

# Let's農業

第44号



・・・もくじ・・・

- ・令和4年度関東農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰・・・・・・・・・・P. 2
- ・ほ場整備で水田の排水性を向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 5
- ・野菜にときめく、好きになる！“みんなの笑顔を育むファーム”・・・・・・・・P. 6
- ・お店で見かける！今、気になる野菜・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 8
- ・令和5年度水田活用の直接支払交付金について ・・・・・・・・・・・・P. 10

◇表紙◇

昨年度はWebでの開催となった営農推進功労者表彰式ですが、今年是对面で行うことが出来ました。表紙は、受賞者である(農)鹿島が栽培した特別栽培米を原料にマルシェで加工・販売しているシフォンケーキです。グルテンフリーにこだわって開発した商品で、もうひとつのグルテンフリーのマフィンも絶品です。

新型コロナ、ウクライナでの戦争、中東での大地震と経済社会情勢が混迷を極める中、農業の生産現場も原材料費の高騰の影響を受けています。本号で掲載した情報が、百の姓をもつ農家の皆さんの創意工夫の一助となれば幸いです。

<編集・発行>

関東農政局農村振興部農地整備課  
さいたま市中央区新都心2-1  
TEL：048-600-0600

# 令和4年度 土地改良事業地区営農推進功労者表彰

## 表彰式と受賞の取組の紹介

令和4年度関東農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰の受賞者が決定し、令和4年12月2日（金曜日）に表彰式を開催しました。今回は2年ぶりに新型コロナ感染防止対策を行いながら対面での開催としました。表彰式の概要と受賞者の取組内容をご紹介します。



### 営農推進功労者表彰とは？

関東農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰は、関東管内の国営及び県営土地改良事業地区で、土地改良事業により整備されたほ場や水利施設等の活用促進のための取組や生産技術の向上、農業経営の改善のための創意工夫によって、他の模範となり、事業及び営農の推進に貢献のあった方々を表彰し、その功績を称えています。平成3年度から行っており、国営及び県営土地改良事業地区（単独）での受益農家、営農推進組織の取組を対象としています。

### 令和4年度表彰について

令和4年度も新型コロナ感染拡大の中での表彰の実施になりました。県、国営事業所に依頼し、候補者を推薦いただいておりますが、新型コロナ感染拡大の影響で制約が多い中、関係機関の皆様にご尽力いただきました。

その中で茨城県から(株)JA常陸アグリサポート、長野県から(有)細田農産、静岡県から西原地区基盤整備組合、国営事業所から吉川氏と(農)鹿島を推薦いただき、選考委員会での審査を経て受賞者に決定いたしました。

### 新しい表彰式のかたち

表彰式は新型コロナ感染拡大防止対策を行いながら令和4年12月2日（金曜日）にさいたま新都心合同庁舎内の関東農政局で開催いたしました。

開会にあたり、大角局長に挨拶をいただき、続いて選考委員会委員長である北林局次長から受賞者の受賞理由について審査講評を行いました。大角局長から受賞者へ表彰状と花束を渡し、受賞者、各地区の関係機関、大角局長、選考委員との記念撮影を行いました。

授与式のあとに受賞者と大角局長、選考委員が出席して意見交換を行い、受賞者から各地区での取組内容をご披露いただきました。受賞者からは6次産業化や農地集積を進めていく中でのご苦労、よりよい農政のためのご意見をいただきました。

来年度も新たな生活様式の中で表彰を実施していきたいと考えています。

## 受賞者の取組内容

令和4年度の受賞者の皆様の各地区での取組内容をご紹介します。  
皆さんの地区での営農推進の取組の参考としてはいかがでしょうか。  
取組内容の詳細は関東農政局ホームページに掲載してありますので、こちらも御覧ください。  
〔掲載アドレス〕

<http://www.maff.go.jp/kanto/nouson/shigen/hyoushou/R4hyoushou.html>

(敬称省略)

受益  
農家

### 吉川 勝久 (茨城県水戸市) ～農地集積と大区画化で作業効率アップ～

#### 取組のポイント

- ①本地区塩崎団地の代表として農地の集積・集約化を推進。積極的に農地を引き受け経営面積を拡大。
- ②10a～20a区画の水田が事業により最大2haに大区画化。プール育苗、農業用ドローンを導入し省力化。
- ③10haで輸出用米を栽培し、JAを介して、(株)百笑市場へ出荷販売。また、卸売業者と契約し業務用米を出荷。



国営緊急農地再編整備事業「茨城中部地区」の概要  
関係市町：茨城県水戸市、茨城町  
受益面積：675ha  
工期：平成28年度～令和7年度  
事業目的：区画整理  
主要工事：区画整理675ha, 末端水路 L=177.2km,  
暗渠施工624ha

#### 経営体の概要

従事者数：5人 (家族)  
経営面積：76.0ha  
主要作物：業務用米, 輸出用米, 縁故米,  
加工用米, もち米, 飼料用米

受益  
農家

### (株)JA常陸アグリサポート (茨城県常陸大宮市) ～応援します！あなたの農業。守ります！地域の農業～

#### 取組のポイント

- ①畑総事業の実施にあたり、農地中間管理機構を活用して、本法人に農地を集積。
- ②本事業による畑かん用水の導入により野菜栽培を実現。さらに、天候に左右されない栽培出荷体系を確立。
- ③かんしょの出荷先を開拓し、令和2年度から大手食品メーカーと取引を開始。焼き芋、なすの漬物を道の駅等で販売。



県営畑地帯総合整備事業「三美地区」の概要  
関係市町：茨城県常陸大宮市  
受益面積：31.9ha  
工期：平成20年度～令和2年度  
事業目的：区画整理、用水改良  
主要工事：区画整理 31.9ha, 用水路 L= 6.7km

#### 法人の経営概要

代表取締役：鈴木秀行  
設立年：平成28年  
社員：57人、販売額：830百万円  
経営面積：233.5ha  
主要作物：主食用米, WCS用稲, 麦, そば,  
かんしょ, ねぎ, にんじん

土地改良事業地区で創意工夫を凝らし、営農推進に取組んでいる組織、栽培技術の向上、低コスト化、農地の集積・集約化等に取組んでいる農家の方がいらっしゃいましたら県、国営事業所の担当者にお声がけください。

受益  
農家

(農)鹿島(千葉県佐倉市)  
～未来を見据えた経営と地域振興～

**取組のポイント**

- ①平成7年の設立当初から将来を見据えて、4.9ha区画のほ場で効率的な農業を実践。地域振興構想も策定。
- ②特別栽培米の栽培に地域でいち早く取り組み、国営事業の目的である印旛沼の水質保全にも貢献。
- ③平成25年にマルシェかしまをオープンし、特別栽培米や、開発した米粉の加工品を販売。



岡本代表

国営かんがい排水事業「印旛沼二期地区」の概要  
関係市町：千葉県佐倉市外3市2町  
受益面積：5,002ha  
工期：平成22年度～令和6年度  
事業目的：用排水改良, 区画整理(水質保全)  
主要工事：機場6箇所, 水路L=54km

法人の経営概要

代表理事：岡本 隆  
設立年：平成7年  
組合員：20人 社員 6人 販売額：64百万円  
経営面積：44ha  
主要作物：主食用米, WCS用稲, 飼料用米

受益  
農家

(有)細田農産(長野県安曇野市)  
～規模拡大し多品目栽培で周年栽培通年雇用～

**取組のポイント**

- ①法人化した中核農家が、積極的に農地中間管理機構を活用して農地集積を推進。
- ②規模拡大に伴い、経営の安定を図るため、農業用水を活用しアスパラガスを新規導入。
- ③長野県の水稲育成品種である「風さやか」の研究グループを立ち上げブランド化にも取り組む。



国営かんがい排水事業「中信平二期地区」の概要  
関係市町：長野県松本市外2市2村  
受益面積：8,847ha  
工期：平成17年度～平成26年度  
事業目的：用水改良  
主要工事：頭首工1カ所, 用水路L=28.5km

法人の経営概要

代表取締役：細田直穂  
設立年：平成15年 社員数：6人  
販売額：80百万円 経営面積：63.4ha  
主要作物：主食用米, もち米, 酒米, 飼料用米,  
大豆, 小麦, そば, アスパラガス

推進  
組織

西原地区基盤整備組合(静岡県島田市)  
～次世代に繋ぐ、地球上でもっとも強く美しい茶園整備～

**取組のポイント**

- ①将来的に安定した茶生産を実現するため、西原地区全体の整備構想を策定。1地区あたりの整備面積は約5ha程度にすることで工事完了までの期間を短縮。
- ②畝方向を南北に統一。幹線農道と畝を平行に、支線農道は東西方向に配置することで乗用作業機の導入を可能に。
- ③狭小で分散していた茶園を担い手農家3戸に集積して50m区画に整備したことで81筆を27筆に集約化。



組合の中心メンバー

県営農地耕作条件改善事業「西原地区」の概要  
関係市町：静岡県島田市 受益面積：4.9ha  
工期：平成27年度～29年度  
事業目的：区画整理  
主要工事：暗渠排水, 土層改良, 農業作業道

組合の経営概要

代表：井村典生  
設立年：平成27年  
組合員：30人  
主要作物：茶



## 水田を活用した畑作物栽培

### ほ場整備で水田の排水性を向上

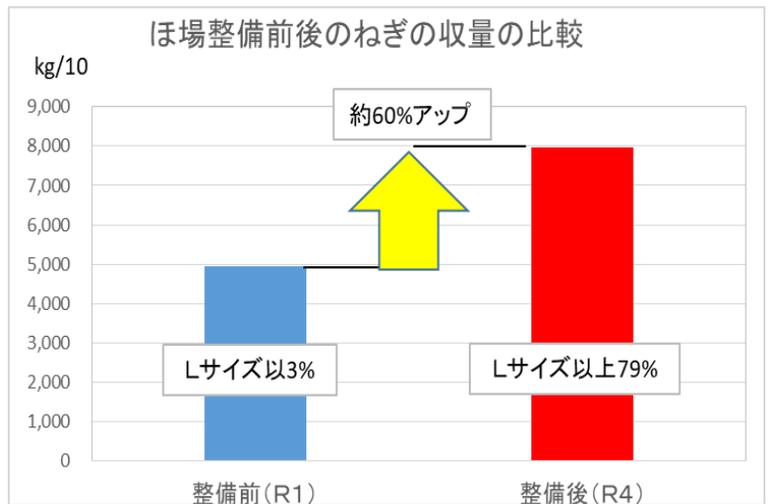
関東管内では、国営茨城中部地区をはじめ、多くの地区でほ場整備事業が実施されています。ほ場整備事業により区画整理、農道を整備することで、作業効率が良くなるほか、排水路やほ場内暗渠を整備することにより事業実施前と比較して、ほ場の排水性が向上します。排水性が向上することで乾田化し、小麦、大豆、野菜などの畑作物の栽培に適したほ場になります。

ほ場整備前と整備後で、どの程度ほ場の排水性は向上するのでしょうか？どのくらい収量や品質がよくなるのでしょうか？ 関東農政局では、(国法)農業・食品産業技術総合研究機構及び地元関係機関と協力し、国営茨城中部地区内に調査ほ場を設置し、ねぎの栽培実証調査を行っています。ここでは、その調査結果と営農で対応可能な排水改良技術を紹介します。

#### ◆調査結果

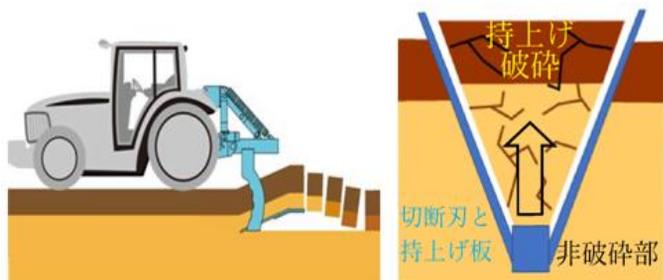
ほ場整備により排水路、ほ場暗渠を整備したことで、ほ場の排水性は改善され、降雨後の土壤に含まれる水分量や地下水位は速やかに低下していく傾向が見られました。

ねぎの10aあたりの収穫量は、ほ場整備前は4,940kg/10aでしたが、ほ場整備後は収量が増加し、整備後の令和4年度は7,973kg/10aと約60%増加しました。また、収量に占めるLサイズ以上のねぎの割合も、ほ場整備前は3%でしたが、整備後は79%に増加しました。



### 営農でほ場内排水対策「カットブレイカー」

カットブレイカーは、農研機構農村工学研究部門で開発した農機具で、V字状の切断刃で土を切断・持ち上げ・破碎・落下させ、深さ60cmまでの破碎溝をつくり、通水性・通気性を改善します。また、下層部には未破碎部が残ることから地耐力・保水力が維持されるため、湿害と干ばつ害に対応しています。また、多少の石や礫があっても施工可能です。



# 野菜にときめく、好きになる！“みんなの笑顔を育むファーム”

国営地区便り  
荒川中部から



国営荒川中部農業水利事業は埼玉県深谷市ほか1市1町にまたがる3,212haの農地への農業用水の安定供給を目的に平成26年から頭首工、用水路の整備を行っています。

令和4年5月に深谷市が進めるプロジェクトの1つ深谷テラスがオープンしました。その施設の中に体験農園、マルシェ、レストランを備えて深谷テラス ヤサイな仲間たちファームがあり、荒川中部地区で生産された多種多様な野菜が出荷されています。

新感覚な農業体験型施設であるヤサイな仲間たちファームについて紹介します。

## ファームのきっかけ

ファームは関越道花園インターチェンジから車で4分の場所にオープンし、敷地面積は1.8haで運営はキューピーの子会社である深谷ベジタブルコミュニケーション(株)が行っています。

ファームをはじめのきっかけは2012年に始まったキューピーの新規事業プラン公募制度へキューピーグループ社員松村佳代さん(現 深谷ベジタブルコミュニケーション(株)体験農園長兼野菜教室長)が提案し採択されたプロジェクトです。提案から3年目に深谷市の公募に採用され、施設建設の候補地が見つかり10年目にオープンすることになりました。

野菜にときめく、好きになる！“みんなの笑顔を育むファーム”をコンセプトに知的な好奇心や健康志向のあるファミリー層をターゲットに野菜の魅力や価値、食べることの楽しみや大切さを消費者へ届けていくことをめざしています。



## 施設の紹介

ファームで野菜探検に出発しましょう。今まで気づかなかった野菜の魅力が発見できます。

「いのちと彩りを感じられる体験農園」

ファームの施設はどれも個性的で魅力的ですが、中でも体験農園はちょっとした探検気分を味わえる農園です。

農園にはその時期の旬な野菜、例えば7月だと、なす、きゅうり、オクラなど複数の品目が栽培されていますが、その栽培されている品種の数が1品目あたり多いもので10種類ほどあります。なすだと、米なす、青なす、とろ〜り旨なす<sup>®</sup>、ローザビアンカ、ヴィオレッタ・ティ・フィレンツェなど、お店ではあまり見かけない個性的な野菜が栽培されています。

ガイドスタッフと一緒に農園の中を歩き、ガイドスタッフのトークを聞きながら個性的な色や形の野菜を観察し収穫し食べることで野菜の魅力が体験できます。(現在は手軽なワンコイン収穫体験にシフト)

野菜だけでなくガイドスタッフと一緒に農園の中に生息する様々な生きものを見つけるのも楽しい体験です。

体験農園の技術指導には年間200種類以上の野菜栽培を行っている(有)コスモファーム中村会長や種苗会社、周辺農家の協力を仰ぎ種子の調達、栽培を行っています。

## Kewpie Startup Programとは？

キューピーの全ての社員が自由な発想で企画提案できる社内公募制度。

キューピー独自の発酵技術により酢酸菌酵素を高濃度に配合したサプリメント「よいとき」もこの公募で企画。



## 食べ頃や食べ方がわかる選べるマルシェ

マルシェには新鮮な旬の野菜や果物が（カラフルジャガイモ、カラフルにんじん、ハーブ、エディブルフラワー、フェンネルなど）、50種類以上並んでいます。

その時の旬の多種多様な野菜を仕入れるために、農家、種苗会社の協力を得て種子の調達と栽培と生産とを依頼し、深谷市の農家から約7割、深谷市近郊の農家から約3割を仕入れ、ファームが主に買い取り販売しています。（埼玉県独自のGAP規範を定めたS-GAPによる埼玉県農業生産安全確認運動も進めています。）

マルシェには花束のように旬の野菜を束ねたオリジナル商品「Today's Salad Mix」、選りすぐりドレッシングなど加工品も並びます。

マルシェの一番の特徴は販売スタッフが野菜の一番おいしい食べ方、無駄なく使い切る方法を案内することです。スタッフの中には野菜ソムリエの方もいて野菜に関する疑問やおすすめの調理方法などを気軽に聞くことができます。また、野菜の調理方法をガラス越しに見ることが出来ます。



取材協力：深谷ベジタブルコミュニケーション株式会社

## 幸せになれるレストラン

地産地消を提唱し野菜の持ち味を生かし切る調理方法で定評のある(株)オトワ・クリエーションの音羽和紀、音羽創シェフが監修するレストランにはグランドメニューがありません。その日マルシェに入ってきた旬の新鮮な野菜を主役に、その都度メニューを考えています。10種類ほどの野菜をふんだんに使いオリジナルドレッシングで食べるサラダは、野菜が持つ本来の味わいを感じられる味付けやカット方法です。



## 五感で学べる野菜教室

シェフや野菜ソムリエが講師となり、お皿をキャンバスにカットした野菜を並べて絵を描くワークショップなどにより野菜の魅力を伝えています。



## 深谷テラスとは？

農業と観光の振興を目的に深谷市が進める関越道花園IC拠点整備プロジェクト（総事業面積28.8ha）では、ヤサイな仲間たちファームのほか深谷市が運営する深谷テラスパーク（観光農園）とふかや花園プレミアム・アウトレットを誘致。深谷テラスとはヤサイな仲間たちファームと深谷テラスパークの総称。



# お店でみかける！ 今、気になる野菜

前の記事で紹介したとおり、なすといってもたくさんの品種があり私たちが普段店頭でみかけるのはそのほんの一部です。また、外国が原産地でこれまで馴染みのない野菜も次々に国内で栽培され始めています。今回は、イタリア野菜のロマネスコとなす、ねぎの新品種を紹介します。新しい野菜栽培にチャレンジしてみませんか。（資料提供：トキタ種苗）

## カリフラワーとブロッコリーの特征を持つ世界一美しい野菜「ロマネスコ」

### 【特徴】

ロマネスコはその名前のおりローマ生まれのイタリア野菜でカリフラワーの一種です。珊瑚のような形で鮮やかな緑色の花蕾が特徴で、世界一美しい野菜ともいわれています。カリフラワーよりも甘みが強く、ブロッコリーにも似た風味もあります。

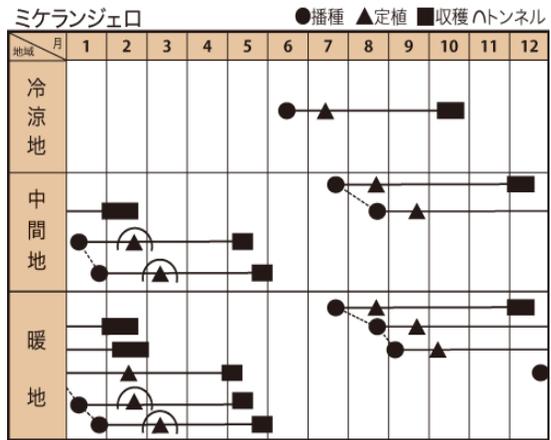
今回紹介する品種ミケランジェロは従来のロマネスコと比べてある程度の耐暑性を持つのが特徴で、高温障害の発生が少なく、他のロマネスコでは、栽培が難しい春作の5月収穫が可能です。

### 【播種】

熟期の目安は定植後、春作75～80日、秋作約110日。発芽適温は20～25℃、発芽迄1週間程度。セルトレー等を利用した移植栽培。本葉3～4枚位まで育苗。

### 【定植】

株間35～40cm、畝間60～70cmに定植。



## 加熱すると、とろける白いなす「とろ～り旨なす®」

### 【特徴】

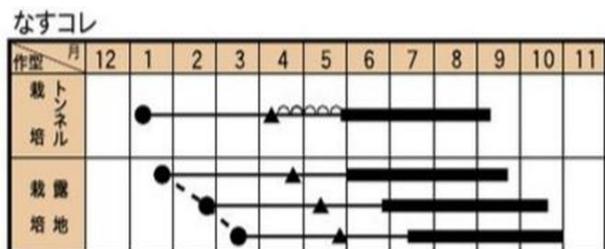
形状は楕円形で長さ15cm、直径8cm、栽培しやすい。果皮は通常の白なすより柔らかく、果肉は緻密で柔らかく高品質です。加熱するとねっとりした食感で、食材に色移りしない。

### 【播種】

低温期に育苗する場合、芽だしに加温が必要です。発芽適温25～35℃（昼夜変温が効果的）

### 【定植】

2本仕立てなら株間45cm前後。3～4本仕立てなら65cmを目安に120cm前後の畝に1条植え。



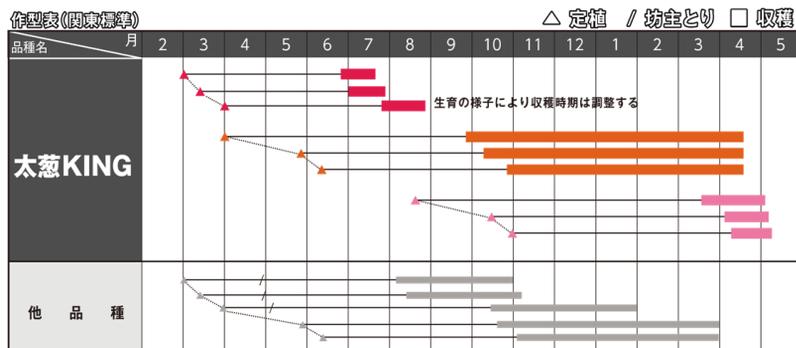
## ねぎ坊主を取らずに夏どり可能に「太葱KING」

### 【特徴】

3月に抜き苗を植えると、7～8月に収穫の夏ねぎ。一般的な品種と異なり、5月頃のねぎ坊主とりが不要。4～6月に植えると、10～4月中旬収穫の秋冬ねぎ。8～10月に植えると、4～5月収穫の春ねぎ。一般的な品種より晩抽なので春先のねぎ坊主の発生が2週間くらい遅く、その分長く畑においておける。

### 【定植】

抜き苗ならば3本ずつ束ねて株間7cm目安。  
土寄せ作業を考えると畝幅は90cm～1m。



## 🍲 レシピ紹介 🍲

### ロマネスコとジャガイモ、アンチョビのサラダ



#### ◆材料（2人分）

ロマネスコ	1/2個
ジャガイモ	1個
アンチョビ	5～6匹
ブラックオリーブ	適量
オリーブオイル	適量
レモン汁	適量
塩	適量
コショウ	適量

#### ◆手順

- ①ロマネスコとジャガイモは一口大にカットし塩茹でする。
  - ②アンチョビとブラックオリーブをきざみ①と混ぜる。
  - ③レモン汁、塩、コショウを適量②に加えよく混ぜる。
- お好みでゆで卵やアボカドを加えたり、冷蔵庫に入れて味をしみ込ませるとおいしさアップ。

### とろ〜り旨なす®揚げ漬し風



#### ◆材料（2人分）

とろ〜り旨なす®	1本
サラダ油	適量
白だし(めんつゆ)	大さじ3
水	適量

#### ◆手順

- ①旨なすのヘタを取り、皮ごと厚さ5cmほどで半月切りにする。

- ②サラダ油と①をビニール袋に入れ、全体にまぶす。
- ③耐熱皿に②を並べ、ラップをして電子レンジ500Wで6分間加熱する。
- ④ボウルに白だしを入れ、規定量の水で希釈する。
- ⑤熱いうちに③を④に浸し、馴染んだら器に盛り付け。

# 令和5年度水田活用の直接支払交付金について

担い手農家の経営の安定化や、麦、大豆などの戦略作物の本作化を進め水田のフル活用を図るために農林水産省が実施している水田の直接支払い交付金制度のポイントについて紹介します。

## ＜対策のポイント＞

食料自給率・自給力の向上に資する**麦・大豆・米粉用米**等の戦略作物の本作化とともに、地域の特色をいかした魅力的な産地づくり、産地と実需者との連携に基づいた低コスト生産の取組、畑地化による高収益作物等の定着等を支援します。

## 【事業の概要】

### 戦略作物助成

水田を活用して、**麦、大豆、飼料作物、WCS用稲、加工用米、飼料用米、米粉用米**を生産する農業者を支援します。

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	3.5万円/10a※1
WCS用稲	8.0万円/10a
加工用米	2.0万円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、5.5万円～10.5万円/10a※2

〈交付対象水田〉  
 ・たん水設備（畦畔等）や用水路等を有しない農地は交付対象外  
 ・現場の課題を検証しつつ、5年間で一度も水張り（水稲作付け）が行われない農地は令和9年度以降は交付対象としない。

※1：多年生牧草について、収穫のみを行う年は1万円/10a

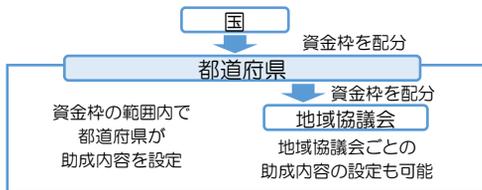
※2：飼料用米の一般品種について、令和5年度については従来と同様。令和6年度から標準単価を段階的に引き下げ、令和8年度において標準単価6.5万円/10a（5.5～7.5万円/10a）とする。

### 産地交付金

地域の作物振興の設計図となる「水田収益力強化ビジョン」に基づき、地域の特色のある魅力的な産品の産地を創造するため、地域の裁量で**産地づくりに向けた取組**を支援します。

○国から配分する資金枠の範囲内で、都道府県や地域農業再生協議会毎に「水田収益力強化ビジョン」において支援内容(対象作物や単価等)を設定（一定割合以上は都道府県段階で支援内容を決定）。

○さらに、当年産の右下の図の取組に応じて追加配分。



取組内容	配分単価
そば・なたね、新市場開拓用米、地力増進作物の作付け（基幹作のみ）	2万円/10a
新市場開拓用米の複数年契約	1万円/10a

### 都道府県連携型助成

都道府県が**転換拡大に取り組む生産者を独自に支援**する場合に、国が追加的に支援します。

○都道府県が転換作物を生産する農業者を独自に支援する場合に、当該支援の対象農業者に対して、前年度からの拡大面積に応じて、都道府県の支援単価と同額（上限：5千円/10a）で国が追加的に支援。

### コメ新市場開拓等促進事業

産地と実需者との連携の下、**新市場開拓用米等の低コスト生産等の取組を行う農業者を支援**します。※1

○対象作物：新市場開拓用米、加工用米、米粉用米※2

※1：予算の範囲内で助成対象となる地域農業再生協議会を決定

○支援単価：4.0万円/10a、3.0万円/10a、9.0万円/10a

※2：米粉用米（パン・麺の専用品種が対象）

### 畑地化促進事業

水田を畑地化し、**高収益作物やその他の畑作物の定着等**を図る取組等を支援します。

① 畑地化支援：高収益作物 17.5万円/10a ※1  
 ：畑作物（高収益作物以外）※2 14.0万円/10a ※3

※1：令和5年度までの時限単価

② 定着促進支援：ア 高収益作物：2万円（3万円※4）/10a×5年間（①とセット）  
 ：イ 畑作物（高収益作物以外）※2：2万円/10a※3×5年間

※2：対象作物は、麦、大豆、飼料作物(牧草等)、子実用とうもろこし、そば等

※3：令和4年度補正予算における単価

③ 産地づくり体制構築等支援

※4：加工・業務用野菜の場合

④ 子実用とうもろこし支援：1万円/10a